



平成 24 年 8 月

第 62 号

SEIFUKU

清 福

題字 総本山金剛峯寺座主松長有慶大僧正祝下

高野町議会だより



宮城県大郷町視察研修（本文は 3 ページ）

平成24年 6 月定例会

おもな内容

- ◇ 平成24年6月定例会の概要 2 頁
- ◇ 平成24年6月定例会議案審議 2 頁
- ◇ 平成23年度一般会計補正予算 2 頁
- ◇ 平成24年度一般会計補正予算 2 頁
- ◇ 平成24年度定例会議案とその結果 4 頁
- ◇ 一般質問 5 頁

発行 高野町議会
編集 広報特別委員会

〒 648-0281
和歌山県伊都郡高野町大字高野山 636
TEL : 0736-56-3000
FAX : 0736-56-5300
e-mail : gikai-jimu@town.koya.wakayama.jp

平成24年6月定例会の概要

平成24年第2回定例会は6月18日に開会、6月26日までの9日間で別記の議案を審議いたしました。

この定例会では、事業会計（病院事業・水道事業）の決算認定2件、条例の改正12件、条例の制定1件、一般会計、特別会計、事業会計の補正予算7件等、全23議案が提案されました。

一般質問については、3名の議員が後述の内容で一般質問を行いました。

平成24年6月定例会議案審議

専決処分の承認を求めることについて

平成23年度高野町一般会計補正予算（第7号）について

質問 駐車場設計委託料418万5千円の減額補正について説明願います。

答弁 幼稚園跡地に駐車場の建設予定があるため、当初予算で660万円を計上しておりました。その時点では、3階建の駐車場になっても対応できるように地質調査等の内容を盛り込んだ詳細設計を予定していたのですが、まだ、今の段階では概略の設計と判断し、今回減額補正をいたしました。

今後、いろいろな議論をいただいで駐車場の形を決定していく中で、十分活用できる設計資料としていきます。

質問 私立幼稚園預かり保育支援事業委託料240万8千円の減額について説明願います。

答弁 3年前幼児保一元化になったとき開始した事業ですが、故郷雇用再生特別基金を活用して事業を展開しています。平成23年度は保育士2名を配置し預かり保育を実施する計画で予算を計上していましたが、雇用に対する応募がなく最終的に1名しか配置できなかったため委託料の方から1名分を減額しました。

質問 無線システム普及支援事業費等補助金2223万3千円について説明願います。

答弁 デジ事業で難視聴地区において、共聴組合を作った場合補助対象となる事業です。当初国指定の難聴地区が約80世帯ありましたが、その中で今回歳出されたのが大滝地区だけでしたので実績分以外を減額しました。

高野町課設置条例の一部を改正する条例について

質問 3月30日に専決を行っているが、3月議会は22日まで実施していたのに、なぜ3月議会に掛けられなかったのか説明願います。

答弁 4月の異動で課長が変わりましたのでその時合わせて課の業務分担を行いました。本来異動がなければ4月までに間に合うように3月中に行えましたが、今回は異動があったことから4月以降に作業を行ったのでこのような形にさせていただきました。

高野町小中学校設置条例並びに高野町文教施設使用料条例の一部を改正する条例について

質問 筒香小学校の廃校に関する条例とありますが、住民の方々のご意見、今後の使用方法などについて説明願います。

答弁 筒香地区の区長さんから、今後色々利用したいので廃校にしてほしい旨の要望が出されたことから、教育委員会で協議を行い、地区の寄り合い会の際に廃校についての説明を行いました。地区の人は今後学校を有効利用したいということで反対もなく同意をいただきました。

平成24年度高野町一般会計補正予算（第1号）について

質問 国庫支出金について、企画費で増額し、地域振興費で減額となっている530万7千円について説明願います。

答弁 空き家などの把握実態調査委託料の補助金分になります。当初予算では空き家調査に関する臨時雇賃金、役務費などを計上しておりましたが、県の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を利用し、空き家の現況確認、物件所有者の意向調査などを行い、台帳を作成する委託事業に組み替えたため、企画費で計上することとなりました。

質問 総合交通計画策定委託料について内容を説明願います。

答弁 高野町総合交通検討委員会において駐車場問題に関することが取り上げられたことから、8月に社会実験を行うための委託料

です。内容としては、金剛峯寺前付近から刈萱堂前付近までの事業所に通勤されている従業員の方々に金剛峯寺前駐車場及び路上駐車している車両を、臨時駐車場として用意してある高野山大学及び東小田原の元営林署跡地の駐車場に移動していただき駐車場の利用実態調査を行います。

【質問】 農業振興費青年就農給付金225万円について説明願います。

【答弁】 県の補助金を利用して45歳までの青年で地域の農業に関してのリーダー作りを行う事業です。現在高野町では、専業農家を始めるために高野町に移住して農業をしている方がおられますが、その方が条件に該当するので県のほうに申請し、地域のリーダーとして農業を振興していただく予定で、26年度まで継続して続ける予定となっています。

【質問】 「歩いて楽しい」周遊型観光創造事業委託料200万円について説明願います。

【答弁】 24年度一年間限定の補助事業で、高野山の町を歩く仕掛けを行っていく創造事業を展開しています。環状道路が完成した時には通過車両が増えると考えられることから、少しでも町の中を歩いていただくにはどうしたら良いかという長期的展望のもとで、中の橋から大門まで高野山の魅力を十分に発掘しながら歩いていただく「歩いて楽しい」周遊型観光を検討していくための委託料です。

【質問】 商工費旅費の特別旅費137万9千円について説明願います。

【答弁】 秋にタイ国において高野山の観光プロモーションを実施する事業費です。

【質問】 タイ国におけるプロモーション事業の内容を説明願います。

【答弁】 5月にタイ国国営の観光協会会長が高野山の方に見えられ、金剛峯寺、観光協会、高野町で色々話し合いを持ちました。現在タイ国では、四季のある日本、特に紅葉して落葉という不思議な現象があることから旅行先の大きな動機付けとなっており、このビジネスチャンスに逃すことはないということで、高野山の誘客に向けて、現地視察、旅行者や関係者とコンタクトをもちながらプロモーションを行いたいと考えています。また、トッププロモーションという形で行いますので、町長を団長として、宿坊組合、金剛峯寺、南海電鉄、町議会に協力いただいて町を挙げてのプロモーションを行いたいと思っております。

【質問】 非常備消防費備品購入費100万5千円について説明願います。

【答弁】 地域防災リーダーである消防団の各種イベントや啓発活動などで整備が必要な、液晶テレビ、ブルーレイレコーダー、デジタルカメラ、ビデオレコーダーなどの購入費で、平成24年度コミュニティ助成事業に応募していたところ採択されたものです。

議員視察研修について

6月26日～28日まで高野町議員視察研修を行いました。今回の視察研修の大きな目的は東日本大震災被災地の被災状況並びに現在の復興・復旧状況の確認を現地で行い、近いう

ちに発生するといわれる南海・東南海沖地震に対し高野町でも備えが必要であることから、町の規模、立地条件が内陸部であるなど本町と似通っている宮城県大郷町を訪問いたしました。大郷町は内陸部であることから津波による人的被害は少なかったが、震度6弱を観測し、全半壊が324件、一部損壊を含めると住家の約42%が被災、公共施設は約30億円の被害を受け、ライフラインも16日間停止したそうです。研修会では、大郷町議長始め議員、災害復旧担当課長から震災直後の対応、住宅対策、ごみ対策、被災者支援対策、放射能対策、他被災地支援、公共施設の復旧計画などの説明と合わせ、被災して直面した問題点などを詳しく教えていただき改めて災害に対する備えの充実が必要であると考えさせられました。最後に議員一同より、少しでも復旧、復興に役立てて頂きたく、大郷町に寄付金をお渡しして当日の研修を終えました。研修を終え特に感じたことは、災害が起こってから復旧に追われるのではなく、想定外のことも想定の上でぐに対応できる体制づくりを考えて行く重要さを再認識させられたことから、研修の成果を高野町の防災に取り組んで行くことの必要性を強く感じました。



2階の天井部分が落下し、被災した「道の駅おおさと」

議案とその結果（6月議会）

議 題 名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認を求めることについて（高野町税条例の一部を改正する条例について）		原案承認
専決処分の承認を求めることについて（高野町都市計画税条例の一部を改正する条例について）		原案承認
専決処分の承認を求めることについて（高野町課設置条例の一部を改正する条例について）		原案承認
専決処分の承認を求めることについて（平成23年度高野町一般会計補正予算（第7号）について）		原案承認
専決処分の承認を求めることについて（平成23年度高野町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について）		原案承認
専決処分の承認を求めることについて（平成23年度高野町介護保険特別会計補正予算（第4号）について）		原案承認
平成23年度高野町立高野山病院事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定
平成23年度高野町水道事業会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定
高野町印鑑条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町斎場設置及び管理条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町例規条例の整備に関する特別処理条例の制定について		原案可決
高野町景観条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町火災予防条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町立小中学校設置条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町立文教施設使用料条例の一部を改正する条例について		原案可決
平成24年度高野町一般会計補正予算（第1号）について		原案可決
平成24年度高野町介護保険特別会計補正予算（第1号）について		原案可決
和歌山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		原案可決
「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書（案）について	総務文教常任委員会	原案可決



中前 好史 議員

高野山の景観づくりに道路面のカラー舗装を

質問 歩く方には歩道を整備してありますので雰囲気は良くなっています。そこでもう一つ宝善院様前から玉川地藏尊までカラー舗装することで町の雰囲気作りができるのではないかと思います。町道全般につきましてもお聞かせください。

答弁（建設課長） 3月定例会におきましては一の橋周辺の川のビオトープ化を提案いただき、また今回はカラー舗装を提案いただき議員の高野山に対する思いの深さを感じるところでございます。高野町におきましては第一に平成16年に景観行政団体に認定されており平成20年には景観条例を制定しており特にきびしい景観地区であります。しかしカラー舗装の場合、単価も普通のアスファルトに比べ1・5倍から2倍かかります。また急な穴補修の時には現在の補修用材では色が合わず見苦しくなるような思いもします。現在歩道につきましては石畳風ブロック材を使用し全体としましては景観の観点から大円院様の前あたりから玉川通りの森田様まで続くというような調和のとれた景観づくりをしようと思っております。道ということでは今年は一の橋観光センター様の前から玉川通り森田様までの道路にしましては普通色アスファルト

舗装ですが歩道の完成と共に舗装を全部やり直し綺麗な道にしようと考えております。補足としまして一の橋周辺としましては熊谷寺様横も石畳化を考えており提案させていただきます。また平成23年度から始めました五ノ室線の電線類地中化も平成25年度をもって完了を迎える予定になっており街並みもすっきりしたものになるかと思えます。何十年後の高野山の姿を思い描き全体として調和のとれた街並みを実現していきたいと考えております。

質問 費用面で本年は普通舗装で進めるとのことですが石畳風のカラー舗装もできると聞いています。高野山の活かし方を考えていただければと思いますのでよろしくお願ひします。

答弁（建設課長） 奥の院参道の石畳風景に調和するような素材で対応できることには対応していくよう考えていきます。

高根南地区の道路整備と側溝の修理について

質問 観光客が国道371号線で橋本市に向かうときに南地区分岐地点で林地区に間違っただけで行くようです。ラインを引き、間違わないよう表示板を設置していただきたく思います。またその周辺の側溝も破損しているので修復もお願いいたします。

答弁（建設課長） 国道371号線ですが先日通告を受け、すぐ現場を見ました。良く解

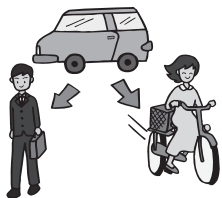
る道路標識の設置と白いライン表示を入れるよう県土木部工務課に働きかけ強く要望したいと思えます。側溝につきましても県に要望してまいります。

町職員のノーマイカーデーについて

質問 町職員のノーマイカーデーについてですが考え、進めていることをお聞かせください。

答弁（総務課長） 5月25日全職員はマイカー通勤から徒歩・自転車・公共交通機関など通勤方法を変更しました。環境への負荷の少ない公共交通機関利用の促進に取り組んでいくため実施しました。エネルギー使用量の抑制・低燃費・低公害車の購入・自動車の効率的利用等今後も取り組んでいきます。また災害時公共交通機関を利用して何時間あれば集まれるかとのことを参考としても取り組みました。一番遠い所からでも3時間でした。今後も引き続きノーマイカーデーと環境の保護に取り組んでいきます。

質問者 当日町職員の皆さんの歩く姿を見たとき自分達の町のことを考えながら歩いていくと快く感じました。また駐車場が空くことで来客も利用できます。先ほど答弁いただきましたが、今後も徒歩で通勤をしていただければ幸いです。



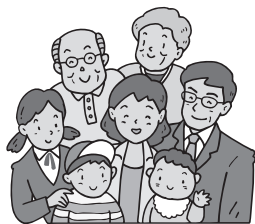


松谷 順功 議員

人口減について

質問 平成21年度より平成30年度までの第3次高野町長期総合計画が、平成21年3月に出版されています。将来の人口については、平成22年4168人、平成27年3759人と推計されています。又計画人口は4000人となっています。しかし平成24年6月18日現在3634人であり、平成17年より7年間で約1000人の減です。保育所の第2子よりの無料化、中学生までの医療費無料化、町営住宅の建替等支援策が実施されていますが、人口減に歯止めがかからない状況です。施策を含め総合計画の見直しが必要ではないですか。

答弁 (副町長) 具体的に設定している項目の中で人口を推定していますが、ご指摘通り自然増を自然減が上まわり、社会増を社会減が上まわっています。色々な施策を実施していますが雇用確保、イコール定住に結びついていない実態があります。今迄とってきた施策で継続すべきもの、見直すべきものを判断し総合計画の中間見直しを行い、人口減対策について検討してまいります。



一人暮らしの高齢者の安心・安全について

質問 在宅の一人暮らしの高齢者が多数おられます。亡くなられて数日わからなかった例、何日も食事がとれないにもかかわらず連絡できなかった例があります。防災も含めソフト面も重要ですが、ハード面として緊急通報システムを考えることができませんか。

答弁 (副町長) 75歳以上の高齢者の方が高野町で853名おられます。人口比率23%です。その中で独居世帯は337世帯です。ソフト・ハード両面にわたり安心・安全を守ることが重要であると考えます。

答弁 (健康推進課長) 各戸ごとにどのような対策が必要なのかと考えますと、平常の見回り活動、人と人の繋がりが昔のようにできているかが問題です。制度としては民生委員さんの活動・県の補助制度で地域見回り協力員制度があり、ネットワーク作りが大切と考えます。緊急通報システムについては、県の補助金500万円があり、有効な仕組の導入ができるよう考えてまいります。

質問 県の補助金があるならば、利用して緊急通報システムを作ってはどうかですか。

答弁 (副町長) 本年度で終了する補助金であり、その活用であれば本年度になります。タイミングや状況をみて合致すれば導入したいと思っております。

環状道路とアクセス道・駐車場について

質問 環状道路建設に伴うまちづくり特別委員会に於いて概要の説明を受け、より現実的な話になってきた感があります。高野町総合交通計画検討委員会での駐車場案は、残土処分場で4〜500台、幼稚園跡地で300台となつていますが、特別委員会での説明によると、残土処分場で普通車180台・バス15台程度(ロータリーも必要)、幼稚園跡地は100台程度との話であり、アクセス道に關係する工用道路(文化通りへの取付道路)もなくなつており、よって交差点も4箇所の予定から3箇所に變更されています。商工会では次世代地域活性化委員会(アクセス道路推進)を立ち上げ検討をしていますがどのようにお考えですか。

答弁 (建設課長) 商工会からの要望である為、最優先事項として捉えており、アクセス道・駐車場を検討するための数パターンの簡単な設計をし、来るべき時のための準備を怠らないようにしています。私の考えですが、土日をはじめ連休や紅葉シーズンの観光客・参拝客の動きはわかっています。アクセス道だけを考えるのではなく、渋滞や経済を含め、高野山全体としての交通の流れを考える必要があります。総合交通検討委員会の提案もいただきながら、又「歩いて楽しい周遊型観光創造事業」により山内に観光客を引き込む施策を考えたいと思います。4つ目の交差点を造るかどうかは熟考したく思います。



所 順 子 議員

高野町立総合診療所について

質問 病院から診療所に形態が変わる理由が、医師・看護師不足と町長は言われました。副院長は超過労働、時間外労働など仕事がつすざる、と言われ診療所化方針を打ち出され、残念ながら議会で承認されました。

まず先日の町内回覧板に看護師募集が入っていました。三月時点で十二名の看護師が在籍している、と事務長は答弁しています。四月以降、仕事が増え看護師不足となったので募集を行ったのか、新年度に入ってから看護師が辞めたから募集を行ったのでしょうか。

次に診療所の医師四名は、過酷な労働条件のもと頑張ってくださいているのだ、と感謝の気持ちと同情を禁じ得なかったものであります。しかし医師四名のうち二名が某病院で働いているらしいのですが、事実でしょうか。

答弁 (診療所事務長) 四月一日から診療所となり夜勤の勤務形態を看護師二人から一人にシフトして行く事を考えていた。四、五月は二人態勢で夜勤をして頂いたが、六月からは一人夜勤に変更している。この時点で退職の申し出があったので若干名を募集した。

病院の時も診療所になっても県から二人の医師を派遣していただいて四人態勢を維持している。その中で某病院が内科医の不足を来

しており、診療所の業務に支障のない範囲で応援してもらえないかと県医務課から申し出があり、その範囲で応援に行かせていただいている。

質問 このようなことで、診療所として訪問看護に支障は出ないのでしょうか。

答弁 (診療所事務長) 看護師は現在一名の方が応援いただいている。訪問看護についても、外来業務についても、今の診療所体制で夜勤の態勢が厳しい中で看護師が少なく補充したい。先生の応援は、二人の先生が週に一回づつ行っている。一回五万円の金額で診療所と市民病院との契約であり、診療所の会計に入ってくる。過重労働の件は、昼間ではなくあくまで夜の課題である。四人一ヶ月一人当たり七、八日間宿直しなければならぬ。昼間については外来で予約診療を行っているので問題ないが、夜の部分はどうしても救急や時間外の対応がある。土日も対応しており、二十四時間三百六十五日の対応で労働時間が過重であるというふうにご理解いただきたい。

質問 医師等の勤務が厳しいことから診療所になったのに、医師が他の病院に働きに行っているというのには信じられない。

答弁 (町長) 市民病院とは種々協定を結んでいる。市民病院からは眼科、整形医師を派遣していただいている。医師に関しては住民に不安を与えるような重労働にはなっていない。宿直は五、六名の看護師では負担がかかるのではないかと危惧し再募集をかけた。

質問 病院の時より看護師が減り、収入も減っていると伺っています。このような状況では診療所さえ危ぶまれるのではないかと。

答弁 (診療所事務長) 三月の時点で六名もの看護師の退職を想定していなかった。その反面、診療所に病棟がなくなる中で余力を在宅にシフトしていけるかが今後の課題である。今回の募集は、一人夜勤態勢を維持していくためである。診療所としての体制を維持していく上では適正な人員配置であると思う。

質問 町立診療所に固執する必要はないのではないのでしょうか。住民が安心して暮らせるには、安定経営が必要で、且つ地元で入院できる病院が必要と感じます。きれいな家で、自宅で看取れるのが一番だ、等とおっしゃった議員も居りましたが、病人を現実に入れてみれば判るはず。数日間の入院も出来ず、数日間のために下山して入院する不便さは何とも重いものです。町民も多く利用し、要請により医師を派遣している市民病院と合併する、などの考えはございませんか。

答弁 (町長) 市民病院は中核病院として、高野在住の方々も色々な形でお世話になっている。ただ、橋本市民病院の分院云々という話は、私の判断では致しかねる部分がある。



3月

- 第5回高野町総合交通検討委員会出席
- 高野山病院経営検討会出席

4月

- 全員協議会
- 管内小中学校入学式出席
- 広報特別委員会（編集会議）
- （社）内外情勢調査会和歌山支部懇談会（知事講演会）出席
- 橋本周辺広域市町村圏組合議会代表者会議出席

5月

- 和歌山県町村議会議長会政策審議会出席
- 第3回高野町シルバー人材センター理事會出席
- 平成24年第1回橋本周辺広域市町村圏組合議会臨時会出席
- 議会運営委員会
- 広報特別委員会（編集会議）
- 伊都郡町村議会議長副議長会の監査
- 伊都郡町村議会議長副議長会出席
- 商工会通常総会出席
- 和歌山県町村議会議長会第64回定期総会出席

6月

- 第6回総合交通検討委員会出席
- 観光事業推進委員会総会出席
- 高野町人権推進委員会総会出席
- 議会運営委員会

一般質問（質問詳細については、5～7ページに掲載）

受付順	氏名	質問事項
1	中前 好史	<ul style="list-style-type: none"> ・高野山の景観づくりに道路面のカラー舗装を ・高野町南地区の道路の整備と側溝の修理について ・町職員のノーマイカーデーについて
2	松谷 順功	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減について ・安心安全について ・環状道路とアクセス道、駐車場について
3	所 順子	<ul style="list-style-type: none"> ・高野町診療所について ・高野町の交通事情について ・高野町と本山の関わり

総務文教常任委員長並びに
議会運営委員長に変更がありました。
次の方が選任されました。

高野町議会総務文教常任委員長

大谷 保幸議員

高野町議会運営委員長

大西 正人議員

一般質問については

『発言』及び『答弁』の内容は、質問者に編集・校正をお任せし、質問者の責任のもと掲載しております。

編集後記



6月の定例議会は専決処分の承認・事業会計決算認定・条例の改正・補正予算などについて慎重に審議を致しました。

全員協議会では総合交通計画検討委員会に出席した報告があり、8月より臨時駐車場を大学構内等に設け、本山前に常時駐車している車を移動してもらい社会実験を行うとの事でした。高野町のこれからを考える重要な交通の問題ですから、今後の会議の内容に注目していきます。

議会終了後、東北地方へ視察研修に行つて参りました。バスで海岸線を通つた時、生々しい津波の形跡が目前に現れ、視察に参加した全員がその光景を見つめて災害に対する重大な思いを議員一人一人が感じていました。今回の研修を生かし災害に強いまちづくりを進めていかなければと思つています。

暑い日が続きますが、皆様には健康に留意され、ご健勝にお過ごしくださいませう願っております。

（大西 正人）

審議内容及び一般質問の詳細については、高野町ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

高野町HP

<http://www.townkoya.wakayama.jp>

議会事務局

0736-56-2935（直通）



地球環境保護のために、植物油インクを使用しています。